

シミュレーション 看護教育速報



シミュレーション教育で看護実践力を向上～卒前・卒後の架け橋として

「看護師の人材養成システムの確立」(文部科学省、平成21年度から)という大型プロジェクトが開始されてから5年目を迎えています。大学病院と大学看護学部が連携して臨床研修体制・方法を開発することにより、効率的・継続的に看護職としての専門能力の習得と向上を図ることを目的としたこの事業。採択された大学の一つが「協働を基盤とした高度実践者・教育者育成」看護職のエンパワーを育成する「ラボレーション」システムの構築」をテーマとして応募した北里大学です。北里大学は平成22年度に採択され、卒前・卒後の教育連携を図ることにより、複雑で高度な医療に対応できる看護職、高い教育力を持つ教育指導者、高い実践力を持つ看護教員を養成することを目指しています。

今回のプロジェクトで導入されている教育プログラムの最大の特徴は、シミュレーション教育を軸に据えたところ。きっかけになったのは、以前から「リアリティ・ショックを解消することはできないのか」と悩んでいた別府千恵看護部長(副院長)がレールダルの紹介で米国ピッツバーグ大学を視察したことでした。「シミュレータを使った」状況の学習」をうまく取り入れているのを見て、こういうやり方であればリアリティ・ショックを緩和できるのではと考えました(別府看護部長)。そこで、基礎教育はもちろんで、プロジェクトの目的として掲げたもう一つのターゲットである経験年数3～5年目の看護職の研修にもシミュレーション教育を導入したところ、受講者からは「自信がついたなどの良好な反応が得られ、確かな手こたえがありました」。

今回は、北里大学病院看護部と北里大学看護学部がシミュレーション教育を核として行う卒前・卒後の教育連携プロジェクトの中で、シミュレータがどのように活用されているかという点をフォーカスしてご紹介します。

北里大学病院
&
北里大学
看護学部

北里大学病院 看護部
所在地：神奈川県相模原市南区北里1-15-1
TEL:042-778-8111(代)
看護職員数：1,095名(専門看護師22名、認定看護師33名、認定看護管理者2名)
北里大学看護学部(相模原キャンパス)
所在地：神奈川県相模原市南区北里1-15-1
TEL:042-778-8111(代)
※他に、白金キャンパス、北本キャンパス、十和田キャンパス

Report

National SUN 大盛況のうちに閉幕



2013年2月17～18日、おきなわクリニカルシミュレーションセンター(通称ちゅらSim)において開催されたNational SUN(Simulation User Network)。オープンからちょうど一年を迎える国内最大規模の医療シミュレーションセンターであるちゅらSimは、この二日間、シミュレーション教育の実践に携わる多くの医療職者らの熱気に包まれた。

SUNはレールダルが主催し、医療シミュレーションに関する情報の共有とネットワーク構築を目的として世界各地で開催されているユーザー主体のミーティングである。国内でもこれまで年に数回の頻度で開催されてきた。National SUNと銘打ち、ちゅらSimと共催した今回は、海外からの招聘演者2名の講演に加え国内24名のシミュレーション教育実践者による18もの分科会が立ち、150名の参加者は時には同職種間で、また時には職種横断的に活発な意見の交換を行い、シミュレーション教育の発展と向上という共通の目的のもと熱いセッションを繰り広げた。

参加者のうち実に半数以上は看護教育者(基礎教育あるいは現任教育)であった。また看護教育に焦点を当てた6つの分科会には医師や救急救命士など看護職以外からの参加者の姿も見られ、シミュレーションを用いた看護教育の充実にける期待の大きさがうかがえた。

看護基礎教育におけるシミュレーション学習～PBLを用いたフルスケールシミュレーション



東京医科大学 医学部 看護学科
岡谷恵子 学科長 & 永島美香 教授

看護教員のためのクリティカルシンキングの教育方法



獨協医科大学越谷病院 救急医療科
池上敬一 教授

院内研修担当者のためのシナリオ作成ワークショップ*1



おもと会 教育研修センター
津嘉山みどり 副センター長 & 嘉陽宗司 看護師

看護基礎教育カリキュラムにおけるシミュレーション教育の効果的活用



高知県立大学 看護学部
大川宣容 准教授

急変兆候に対応しよう!



獨協医科大学越谷病院
浅香えみ子 副看護部長

院内シミュレーション教育の実践*2



北里大学病院 集中ケア認定看護師
森安恵美 係長

*1 院内研修担当者のためのシナリオ作成ワークショップ—臨床での事例をもとにシミュレーションシナリオに落とし込む
*2 院内シミュレーション教育の実践—3～5年目看護師対象のフィジカルアセスメント研修アドバンスコース

SimMan 3G

質の高い医療を実現するために

- ・レールダル社シミュレーションの次世代ソリューション
- ・完全ワイヤレス患者シミュレータ
- ・豊富な聴診音(体幹前面・背面)
- ・まばたきと瞳孔反射
- ・分泌物(汗・涙)、出血、痙攣



www.laerdal.com

発行：レールダル メディカル ジャパン株式会社
〒102-0082 東京都千代田区一番町8 一番町FSビル
TEL:03-3222-8090 FAX:03-3222-8091 www.laerdal.com
カスタマーサービス ☎0120-309-060





シミュレーション 教育実施に向け 周到に準備

北里大学病院では開院当初から「教育」が大学病院の使命として重視され、国内でもいち早く独自の院内専門看護師制度を導入するなど、その先進的な取り組みは常に注目を集めてきました。また、北里看護研究会など、北里大学看護学部と連携して事業や研究を行うことも北里の伝統であり、こうした素地の上に獲得した「看護師の人材養成システムの確立」プロジェクトから立ち上げたのが、別府看護部長と黒田裕子看護学部長を中心メンバーとする「北里大学病院看護コラボレーションセンター」です。



左から、シミュレーション研修を担当する森安恵実係長、猪又克子看護科長、谷口陽子師長補佐

表1 北里大学病院看護コラボレーションセンターのこれまでの主な取り組み

平成22年	9月 10月～ 12月～	「看護師の人材養成システムの確立」に採択される コラボレーションセンター設置。3つのワーキングチームを作り、 今後5年間の活動スケジュールを策定 3～5年目の看護職員に、コンフリクトの内的・外的要因とストレスについてのインタビュー・要因分析
平成23年	4月 7月 8月	シミュレーションラボの開設 虎の門病院シミュレーション・ラボセンター見学 「フィジカルアセスメント研修アドバンスコース」開始
平成24年	2月 9月 10月	米国UCLA、ピッツバーグ大学WISERへの海外研修 NLN(全米看護連盟)教育サミット参加 シミュレーション教育についてのセミナー開催
平成25年	2月	National SUN(レールダル社 Simulation User Network) @ちゅらSim で演習発表

企業ブリスの訪問、Mira Costa Collegeと Saddleback College(いずれも米国)の視察やNLN(全米看護連盟)教育サミットでのシミュレーション関連セッションに参加。さらに、すでにシミュレーション看護教育を実施していた名古屋大学病院や虎の門病院のシミュレーションセンターの見学を行い、理解を深めていきました(表1)。シミュレーション教育プログラムを立ち上げる役割を担った谷口陽子師長補佐は「初めはシミュレータの使い方を知らなかったのですが、実際にシミュレーションに特化した教育を実施している施設を見て、使い方はもち



フィジカルアセスメント・アドバンスコースの演習風景

表2 シミュレーション教育の内容

プログラム	対象	内容
BLS	新人看護職員(7月)	急変発見時の行動、バッグバルブマスク換気・心臓マッサージ・AED操作の演習
多重課題シミュレーション	新人看護職員(10月)	日々の看護業務で頻りに起こる多重課題に対応し、映像とチェックシートにより振り返る。自分の考えや行動の傾向を知り、課題を見出す
フィジカルアセスメント	新人看護職員(12月)	フィジカルイグザミネーション中心の演習を実施する
フィジカルアセスメント研修アドバンスコース	リーダーレベルI取得者(リーダーの役割を目指す者)	呼吸・循環・消化器・脳神経の4領域の講義、グループワーク、シミュレーション演習を実施する
静脈注射看護師育成	リーダーレベルI取得者	バーチャルIVによる自己学習を必須課題とし、知識確認テスト・実技試験を行う認定制度

はなく、リーダーとして適切に判断(意思決定)し、対応できるようにするための「シミュレーション」に特化。コミュニケーション能力とSBAAR(Situation(状況)/Background(背景)/Assessment(評価)/Recommendation(提案))による報告が身に付くようなトレーニングが行われています。

表3 フィジカルアセスメント研修アドバンスコースで用いた症例

50歳 男性。 既往に虚血性心疾患があり、ワーファリン内服中 今回は、腹痛の精査入院。 昼間、トイレで滑って転んだという情報があったが、頭部は打っていないと本人から自己申告があった。 屋のバイタルサイン: 瞳孔3.0左右差なし。対光反射良好。意識清明。麻痺なし。 血圧120/60 p70 R16 熱36.5 夜間、21時、眠剤を配りにラウンドにいきました。
転倒後のSDH 仕込み
頭が痛いと訴える。GCS 3/5/6 瞳孔:アニソコリア(見たら) 嘔吐 呼吸数25/分。 呼びかけに開眼反応なし、痛み刺激で逃避反応 GCS1/2/4 体温37.5℃。血圧 170/90mmHg。脈拍 50/分、整。呼吸音正常。 SPO ₂ 100% (酸素5ℓ) 上気道狭窄音を徐々に強める
振り返りで押さえてほしいポイント
(情報収集) 情報から出血傾向があること、それを予見しそれを伝えられる意識レベルの確認 舌根沈下/チェーンストークス呼吸を発見できるクッシング兆候がわかる
(アセスメント) 意識障害 この症例は、ABCDのどの異常かを聞いてください。 血圧が上がると、脈が下がる兆候が何なのか聞いてください。 説明できなかったら、余談ですが・・・と説明をしてあげてもよいのかもしれない。(←テストにはできません)
(行動) 報告をして医師が来る前に 気道の問題(舌根の沈下)を評価する→ 肩枕の挿入、経口エアウェイの準備 挿管の準備 CTの準備

研修後のアンケートの結果からは、「苦手とする」フィジカルアセスメントの強化に役立ったとの感想が多く寄せられました。そして、コース受講から3ヵ月後に提出されたレポートでは、「あの研修があったから、その後、躊躇なく自信を持って対応できた」といった声も聞かれたそうです。

* * *

これまでの取り組みから、看護基礎教育、そして臨床実践家としての過渡期となる経験年数3～5年目の看護職を対象とした実践力強化研修のいずれにおいても、シミュレーション教育の有効性が実感されています。最近では、院内RSTが実施している「気道管理」や「気づき」の研修にもシミュレーション教育が取り入れられるなど、その動きは着実に広がりを見せています。



これまでの取り組みを 振り返って

～別府千恵 看護部長～

よい看護師の一つの要素は、医師の指示を待つだけでなく、患者さんの状況をしっかり理解したうえで適切に判断できることだと思いますが、シミュレーション教育を導入すれば、臨床判断力も効率的に身に付けられると実感しています。

私たち大学病院は自院のことだけを考えるのではなく、大学との連携を生かし、地域に貢献する看護師を養成、輩出していくことが大命題です。世の中で役に立つ看護師を育てる、という視点でこれからも教育に取り組んでいきたいと考えています。

るん、さまざまなシナリオがあることも理解できました」と振り返ります。

本プロジェクトのシミュレーション教育では4名のインストラクターが活躍することになりますが、最初に白羽の矢が立ったのが集中ケア認定看護師の森安恵実係長です。以前からFCCSコース(米国集中治療医学会が行っているout the job trainingの一つ)でインストラクターを務めている経験が評価されたのだと聞きます。「私を除く3人は未経験からのスタートで、彼女達の不安を取り除くところから始めなければなりませんでした。また、3人ともICUおよびPICUで働く看護師だったことから患者の病態や急変時の看護介入に関して必然的に難易度の高過ぎるシナリオを設定してしまい、作り直しをすることもありました(森安係長)」

シミュレーション 教育の実際

■ 基礎教育の演習

基礎教育の学内演習には、病院の看護スタッフコアシリテータとして派遣され、我々看護職はいつどこで、どのような状況であっても、患者に適切に対応できるようにしておかねばなりません。しかし私が学内でのロールプレイ演習を見学したとき、学生と患者役の周囲は透明のカートンで区切られているような、意図的に外部の雑音を遮断する環境が作られています。実際の臨床現場はこのように「静寂で整った環境」ばかりではありません。シミュレーション教育を導入するのであれば、臨床をよく知る看護師が関わり、臨床にでき



「老年生涯発達看護学」の演習に取り組む北里大学看護学部の学生

るだけ近い環境設定の中で学習ができるようにしていくことが必要です」。別府看護部長はこのように指摘します。

シミュレータを用いた学内演習は、基礎看護学演習と、老年生涯発達看護学演習(臨地実習前)で実施されます。たとえば後者は、老年看護の特性を理解する目的で、咳嗽や腹痛の症状を持つ老健施設の入所者を想定し、レールダル社のSimManエッセンシャルを使って肺音聴取やバイタルサインの測定などを行います。その後グループディスカッションを通じて学生同士が学びを共有し深めていくのです。演習後に実施したアンケートでは学生たちの反応はよく、「シミュレータを使った事例展開は、実際の看護につながりやすい」などの感想が寄せられました。

■ 経験年数3～5年目の
看護職の実践力強化

今回のプロジェクトにおけるもう一つの大きなねらいが、経験年数3～5年目の看護職の実践力を強化することです。この経験年数にあたる看護職のなかには、急激に増